

1 基本目標の2022年度の成果評価

(1) 基本目標

評価のポイント	未来デザインを上から下へ俯瞰する視点で方向性・妥当性の評価
①基本目標のねらいと取り巻く状況の認識は妥当か	<p>【評価】 <input checked="" type="checkbox"/> 評価する <input type="checkbox"/> 概ね妥当 <input type="checkbox"/> 評価できない 理由等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題と活動に対する認識は妥当。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「地域づくりを地域主体で進める」ことについて、各地区が持続可能であり続けるための支援ができていないかが全体における課題であると改めて認識されたい。
評価のポイント	戦略計画との関係性、目標達成への貢献度・成果の評価
②取り組みの内容をどう評価するか	<p>【評価】 <input type="checkbox"/> 評価する <input checked="" type="checkbox"/> 概ね妥当 <input type="checkbox"/> 評価できない 理由等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・説明内容から判断すると概ね妥当。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり委員会での評価はどうかという視点をいれていくべきではないか。 ・地区ごとそれぞれの取り組み状況を把握しないと「20 地区が輝く～」の進捗状況が図りづらい
評価のポイント	基本目標との関係性から 評価できる点と今後に向けた課題・方向性等
③進捗状況確認指標、重要業績評価指標（KPI）、参考資料等は、戦略の達成度、進捗状況を測る指標として妥当か	<p>【評価】 <input type="checkbox"/> 概ね妥当 <input type="checkbox"/> 評価する <input checked="" type="checkbox"/> 評価できない 理由等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本目標を評価するための指標として不足している。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本目標の進捗を測れるような、地域が主体となった客観的な指標を追加してはどうか。 ・例えば、飯田市に暮らすことによる飯田市民の満足度の指標が必要であり、客観的なデータとして「健康とくらしの調査」から、市民の社会参加をウェルビーイングの視点から捉えた分析（日本福祉大学 宮國講師）を用いた住民満足度の指標を活用されたい。
評価のポイント	方向性の妥当性、社会変化への適応状況の評価
④実績を踏まえ2023年度の方向性・妥当性・社会的環境変化への適応状況	<p>【評価】 <input type="checkbox"/> 評価する <input type="checkbox"/> 概ね妥当 <input checked="" type="checkbox"/> 評価できない 理由等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後の展開に対する現状認識に危機感が感じられない。コロナ禍の追い打ちを受け、一層地域自治の崩壊が加速していくかもしれないこの時に、より緊張感をもって各地区に寄り添った取り組みが必要。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「地域づくりを地域主体で進める」このことについてもムトスの精神が必要である。 ・地域と行政のお互いの考え方や認識におけるギャップの解消が必要である。 ・地域がまちづくりを行っていくために必要なことをもう一度確認した上で、行政がまちづくり委員会をコーディネートする必要がある。

(2) 戦略計画

年度戦略 (小戦略)	9-①	住民みんなで進める自治を育む
評価のポイント	基本目標との関係性から 評価できる点と今後に向けた課題・方向性等	
戦略計画は基本目標の達成のために、その役割を果たしたか	<p>【成果】 <input type="checkbox"/> 評価する <input type="checkbox"/> 概ね妥当 <input checked="" type="checkbox"/> 評価できない 理由等)</p> <ul style="list-style-type: none"> 基本目標の中期の残りとは後期にどう目標を達成していくか、重要な局面であるにも関わらず取組の内容の結果が記載されていないので、小戦略が進んでいるのかどうなのかが分からない。まちづくり委員会連絡会議での情報提供や意見交換は良いのだが、課題を整理し改善に向けていく場が必要ではないか。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「緩やかなつながり」の部分をも具体的にどう考え、地域に展開していくか、入口の考え方としては良いが、地域自治を担いゆく市民をどう育てていくかが今後の課題と考える。 隣近所との「緩やかなつながり」は中身の説明があったが、市民への周知や自治会加入への反映状況が伝わってこない。 なぜ「一部地区では創意工夫の取組が継続されている」が取組の成果となるのか疑問である。一部地区という認識があるのであれば、全地区で創意工夫の取組ができるよう、今後の方向性で触れるべきと考えるが、触れられていないのは疑問である。 加速度的に進む少子高齢化による地域の人材不足や、コロナ禍で経験してきた地域行事の在り方と今後についても、コーディネートする必要がある。 全市民的な面からの提案として、市からの配布物が役員の負担となっているとの声もきく。デジタル化で対応できる物や対応できる市民にはそうされることが負担軽減にもなるし、若年層にはその方が市からの情報が伝わるようになる。またデジタル回覧板の導入を検討されたい。 	

年度戦略 (小戦略)	9-②	地域の担い手を確保し、活力を維持するための「20 地区田舎へ還ろう戦略」の推進
評価のポイント	基本目標との関係性から 評価できる点と今後に向けた課題・方向性等	
戦略計画は基本目標の達成のために、その役割を果たしたか	<p>【成果】 <input type="checkbox"/> 評価する <input type="checkbox"/> 概ね妥当 <input checked="" type="checkbox"/> 評価できない 理由等)</p> <ul style="list-style-type: none"> 「20 地区へ還ろう戦略」がどの程度進んだのか、全体像としてどうだったのかが不明のため。また自己評価としてどうなのかが分からない。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 行政と地域役員の考え方や知識にギャップが生じていないか、地域で気付いている事、気付いていない事を見極め、各地区の魅力に磨きをかけるための支援ができていくか。 行政が支援するにあたり 20 地区に深くかかわる人材(例としてセンター職員)をどう育成していくべきか取組みの中で明確にする必要がある。(ジェネラリストとスペシャリストの考え方) 関係人口・交流人口について、コロナ禍で中断していた今までの取り組みや活動を再構築し、コロナ前の熱量に上げていく必要がある。 「20 地区田舎へ還ろう戦略」は各地区の取り組み状況を見る必要がある。また「20 地区田舎へ還ろう」の用語を地区で耳にする機会が少なくなっており、意義の再確認が必要である。 地域おこし協力隊について現在は中山間 7 地区の地区ごとの課題解決に当たっているが、全市民的な視点での課題解決、情報発信を取り組みのテーマにする必要がある。 	

年度戦略 (小戦略)	9-③	中山間地域をもっと元気にする
評価のポイント	基本目標との関係性から 評価できる点と今後に向けた課題・方向性等	
戦略計画は基本目標の達成のために、その役割を果たしたか	<p>【成果】 <input type="checkbox"/> 評価する <input checked="" type="checkbox"/> 概ね妥当 <input type="checkbox"/> 評価できない 理由等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中山間地域の各取り組みは評価し、評価シートの内容からは概ね妥当。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中山間地域のトレンドと全体像がわかるような客観的な評価指標となっているか、自治振興センターの評価ではなく、住民の評価となっているか。 ・ 中山間地域は人口減少、少子高齢化の課題先進地であり、持続可能な地域としていくため更なる連携強化が求められる。これからの地域づくり担う壮年層の組織化支援が必要である。 ・ 中山間地域の活力が飯田市全体にとって必要ならば、地域と行政の協働というがそれのみならず、地域住民の機運醸成など全市的な取り組みを行政は模索すべき。 ・ 今後の方向性でうたっている「地域課題の解決に向けた組織の設立～」は中山間地に限らず、全市的な課題と捉えて小戦略9-①に集中しても良いのではないか。 	

評価のポイント	基本目標との関係性から 評価できる点と今後に向けた課題・方向性等	
実績を踏まえ 2023 年度の方向性・妥当性・社会的環境変化への適応状況	<p>【評価】 <input type="checkbox"/> 概ね妥当 <input type="checkbox"/> 評価する <input type="checkbox"/> 評価できない 理由等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 	